

SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークの取組③

事例発表：「紙だからこそできる持続可能な活動

～「竹紙」「里山物語」ほか社会的課題解決への挑戦～

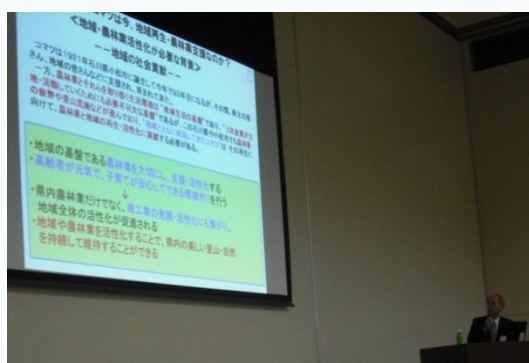
西村 修 氏（中越パルプ工業株式会社 営業管理本部営業企画部長）

「竹紙」に取り組むことにより、里山保全、生物多様性保全、地域経済活性化、未利用資源の有効活用等に繋がることも然ることながら、「いつもの仕事の中に余計なソーシャルグッドを取り入れることで、誰でも社会を変えることができる」というメッセージをいただきました。また、「自分たちができることをし、最大限に発信することで人との繋がりが広がる」とのアドバイスをいただきました。



事例発表：「コマツの石川県内農林業支援」

三谷 典夫 氏（コマツ 粟津工場プロジェクト室担当部長）



農林業とそれらを取り巻く生活環境は地域生活の基盤であり、二次産業が立地・活動していくためにも必要不可欠な基盤でもあるため、「地域とともに成長してきたコマツ」は農林業と地域の再生・活性化に貢献する必要があると説明いただき、石川県内で支援している農業、林業、こまつの杜の取組内容を紹介していただきました。

事例発表：「コウノトリが舞う里づくり」

三好 栄 氏（越前市役所 産業環境部理事 コウノトリ共生推進室長）

コウノトリの生息、飛来が確認される越前市では、受け継いできた歴史や文化、自然、心の豊かさを守り、いのちを育み、次世代へ継承する契機になるよう、各セクターが連携して「コウノトリが舞う里山づくり構想」の推進を図っており、里地里山の保全再生、環境調和型農業の推進と農産物のブランド化、学びあいと交流の取組内容を紹介していただきました。



◎意見交換、名刺交換会

事例発表後、登壇者による意見交換会を行い、香坂氏からの「社内の意思のまとめ方」「外部とのネットワークづくり」の問いかけについてのご意見いただきました。

セミナー終了後の名刺交換会では、会員間の交流、情報交換が図られました。

